



茨協ニュース

第85号

平成25年3月1日

社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

人材こそが最大の資源 充実させよう教育訓練



CONTENTS	
■ 平成25年 新年賀詞交歓会開催	2
■ 第42回関東甲信越地区例会（茨城例会）について	3
■ 各委員会事業等の開催予定について	5
■ 理事会だより	6
■ 各委員会だより	6
■ お知らせ	7
■ 会員紹介ページ	8
■ 編集後記	10

目 次

CONTENTS

CLEAN CREW



クリーンクルー
マスコットキャラクター
「ピカタン」

平成25年 新春賀詞交歓会開催

1月30日（水）「水戸プラザホテル」において、100名を超える出席者のもと、（社）茨城県ビルメンテナンス協会新春賀詞交歓会が盛大に開催されました。

ご来賓には、橋本昌知事をはじめ、岡田広自民党県連会長、高橋靖水戸市長のほか関係する国及び県の行政機関と関連団体の方々、多数のご臨席を賜りました。

始めに大山会長より「日本の資源は人材である」という業界にとってまさしく根幹に響く挨拶がなされました。

新たな年を迎える夢と希望を抱いた今年の幕開けにふさわしい和やかな雰囲気の中、多数のご祝辞をいただいた後、宴は鏡開き、乾杯、祝宴へと続き、本命ともいえる懇親の輪が広がり広い会場内は熱気に包まれ有意義な会となりました。



社団法人茨城県ビルメンテナンス協会
会長 大山 進

改めまして、明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、決意を新たに、新年を迎えられたことと存じ上げます。

本日は、ご多忙にもかかわらず、茨城県知事 橋本 昌様、参議院議員・自民党県連会長 岡田 広様、水戸市長 高橋 靖様をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、恒例の賀詞交歓会が開催できますことを、心から感謝申し上げる次第でございます。

さて、昨年は、東日本大震災からの復興事業が本格化したところでございますが、当協会でも、「教育元年」を旗印に、鋭意、震災

対策に取り組んでまいりました。

まず、大震災による新たなニーズに適切に対応するため、放射能の除染業務に関する学科及び実技の「特別教育」を、他の協会に先駆けて実施し、作業の安全確保の徹底を図りました。

また、電力の供給がひっ迫する中、建物の設備を担当する社員を対象とした「技術研修会」を開催し、照明や空調設備などの「節電、省エネ」を更に推し進めました。

ご案内のとおり、私どものビルメンテナンス業は、労働集約型の産業でございます。

社員一人ひとりの資質が、直接、サービスの品質に影響をいたします。

ビルメンテナンスの業務は、年々、複雑化、高度化とともに、より質の高いサービスが求められております。また一方では、洗浄剤や冷媒ガスなどによる環境問題への対応も重要な課題となっております。

まさに社員の教育が生命線であり、教育を疎かにすれば、その会社に未来はないと言つても過言ではありません。

ビルメンテナンス業が、社会的な評価をいただきながら着実に成長をしていくためには、人材の育成に今まで以上に真剣に取り組んでいく必要があると、強く感じております。

そこで、今年は、「会社の重要な資源は人材である」ということを、協会の基本方針として、事業を推進していく考えであります。

人材の育成を第一として、指導者講習会、技術者研修会などの教育・研修事業を一層充実させるとともに、全国ルールに基づく競技会を開催し、清掃技能の向上を図ってまいります。

会員の皆様方におかれましても、人材という大切な資源を増やすため、社内教育の体制を強化され、社員一人ひとりが、仕事への誇り、喜び、充実感、そして達成感を感じられるような、人材が育成される社内環境の整備にご尽力をいただきたく、お願いを申し上げる次第でございます。

ビルメンテナンス業を取り巻く状況は、限度を超えたコストダウンなど、依然として嚴

しいものがありますが、顧客の信頼に応え、県民の皆様方に衛生的で快適な生活環境を提供することが、私どもの使命であります。

経済状況の厳しさに負けることなく、常に質の高いサービスをめざすことで、会員の皆様方が更なる飛躍を遂げますことを、大いに期待するところでございます。

また、現在、安倍内閣が、アベノミクスと言われる大胆な経済戦略を打ち出し、具体化に向け、着々と準備を進めておりますが、日本経済の力強い再生と、ビルメンテナンス業を取り巻く経済的な環境が、少しでも改善されることは、心から願うものでございます。

最後に、本日ご出席の皆様方のご多幸と、会員企業の益々のご発展を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



茨城県知事
橋本 昌 様

本日は、茨城県ビルメンテナンス協会の賀詞交歓会が、大変盛大に開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。

大山会長さんをはじめ、会員の皆様方には、日頃より、建築物及び設備の適正な管理や、保安警備などを通じ、県民生活の向上にご尽力いただきしておりますことに、深く感謝申し上げる次第です。

さて、昨年は、東日本大震災や原発事故の影響が強く残る中で、円高や世界景気の低迷など厳しい経済情勢が続き、皆様方にはご苦労の多い一年であったことと存じます。

一方で、震災で被災した施設の復旧は着実に進んでおり、茨城空港における神戸便・上海便の増便や那覇便の就航、日野自動車古河工場の稼働など、発展に向けた明るい動きも見られました。また、震災や原発事故の影響

で大きく落ち込んだ県内への工場立地の動きも回復の兆しを見せてきております。

本年は、震災からの復興を着実に成し遂げ、本県をさらなる発展の軌道に乗せていくための重要な年であります。引き続き、行財政改革を進めながら、社会基盤の本格復旧や風評被害の払拭などに努め、県民の皆様が安全、安心、快適に暮らせる「生活大県」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

とりわけ、これからも安全で快適な県民生活を実現していくうえで、建築物の環境衛生管理をはじめ、電気通信や空調設備、防火防災などの保安警備といった幅広いサービスを提供されている皆様の役割はますます重要になってまいります。

また、地球温暖化防止対策などの環境問題への対応や、節電などの省エネルギー対策、さらには放射性物質の除染の問題など、新たなニーズを受けて、皆様方には従前にも増して専門的な知識と技術の習得が求められていることと存じます。

このような中、協会の皆様が、各種の研修会などを積極的に開催され、従事者の管理技術等の研鑽に努められるなど、一丸となってサービスの質の向上に熱心に取り組まれていることは、誠に心強い限りでございます。

今後とも、県民から一層信頼される業界を目指し、会員の皆様方が一致団結し、ビルメンテナンス業界の発展にご尽力されますことをご期待申し上げます。

県といたしましては、引き続き、協会の皆様との情報交換等に努めながら、建築物の衛生環境の維持向上に取り組んでまいりますので、今後とも、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨城県ビルメンテナンス協会の益々のご発展と、皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。





名司会者 宮内理事の一声で
賀詞交歓会が始まりました

来栖理事の開会のことば



鏡開き

茨城労働局 労働基準部長
高橋 良和様 ご祝辞

水戸市長
高橋 靖様 ご祝辞



参議院議員
自由民主党茨城県支部連合会会長
岡田 広様 ご祝辞

中締め 鷹巣理事のご発声で

三本締めで.....



閉幕

写真撮影：新生ビルテクノ(株) 北関東支店長 渡邊 東於 氏

第42回関東甲信越地区例会 茨城例会の開催

関東甲信越地区の会員相互の情報交換と親睦、さらには業界を取り巻く課題の共有などを目的に、毎年、各県協会の持ち回りで「地区例会」が開催されております。

今年は、本県協会が運営に当たり、「茨城例会」として開催されます。

「茨城例会」を成功させ、業界の更なる発展を図るため、会員の皆様方の積極的なご参加はもとより、運営面でのご協力をよろしくお願いします。

(開催の概要)

事業名： 第42回関東甲信越地区例会

茨城例会

期 日： 平成25年10月10日(木)～11日(金)

会 場： 「ホテルマロウド筑波」

土浦市城北町2-24

主 催： 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 関東甲信越地区本部

運 営： 社団法人茨城県ビルメンテナンス協会

日 程： 10月10日(木) 例会(全国協会報告、各県協会報告、講演会など)

10月11日(金) 観光、ゴルフ

参 加： 関東甲信越地区的9県協会(神奈川県、新潟県、長野県、埼玉県、山梨県、栃木県、千葉県、群馬県、茨城県)並びに全国協会、関東甲信越地区本部

来 賓： 関係の行政関係者及び国会議員、県議会議員など

平成25年度 各委員会事業等の開催予定について

委員会名	事 業 名 等	予 定 日	場 所
総務委員会	第39回通常総会	6月13日(木)	ホテルレイクビュー水戸
〃	第42回関東甲信越地区例会・茨城例会	10月10日(木)・ 11日(金)	ホテルマロウド筑波
建物衛生委員会	第10回茨城県ビルクリーニング技能競技会	5月9日(木)	茨城県立青少年会館
〃	清掃作業従事者研修指導者講習会(新規・再講習)	8月2日(金)	茨城県総合福祉社会館
〃	ビルクリーニング技能検定受検準備講習会	11月下旬～ 12月上旬の4日間	茨城県立青少年会館
設備保全・警備委員会	技能者研修会	9月4日(水)	茨城県総合福祉社会館
労務対策委員会	労働安全衛生大会	10月23日(水)	茨城県総合福祉社会館
広報委員会	茨協ニュースの発行	8月1日・12月1日	

(※2月20日現在)

理事会だより



第4回常任理事会

日 時 2月7日(木) 14:00 ~ 17:00
場 所 協会会議室
出席者 大山会長、宮内副会長、曾根・鷹巣・
高野・池田・田口各常任理事
砂押専務理事

- 議 題 (1) 協会の運営について
(2) 各委員会事業の運営について
(3) 第42回関東甲信越地区例会・茨城例
会の開催について
(4) その他

各委員会だより



建物衛生委員会

◇ 協会講師打合せ会
日 時 1月18日(金) 15:00 ~ 17:00
場 所 協会会議室
出席者 曾根委員長、大曾根副委員長、藤原・
塙越・川嶋・篠崎・井上・塩谷・高橋・
山口各委員
議 題 (1) 平成25年度建物衛生委員会事業計画
の策定について
(2) 第10回茨城県ビルクリーニング技能
競技会の開催について
(3) その他

◇ 第3回委員会
日 時 2月6日(水) 15:00~16:30
場 所 協会会議室
出席者 池田委員長、湯原副委員長、佐藤・館・
助川各委員、砂押専務理事
議 題 (1) 「茨協ニュース(第85号)」の発行に
について
(2) その他

◇ 編集会議

日 時 2月19日(火) 15:00~16:30
場 所 協会会議室
出席者 宮内副会長、池田委員長、湯原副委員長、
佐藤・館・助川各委員
議 題 (1) 「茨協ニュース(第85号)」の編集作
業について
(2) その他

祝 労働安全衛生標語の入選

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会の平成24年度(第29回)労働安全衛生標語に、
東京美装興業(株)茨城支店の岩崎大輔さんの作品

「急ぐな 焦るな 手を抜くな 初心に戻って 安全確認」(当協会選考で金賞)

が、約2万点の応募作品の中から佳作に入選しました。本当におめでとうございました。
昨年、銅賞に入選した総合建物サービス(株)の高田利子さんに続く快挙で、当協会としま
しても大きな喜びとするところです。

目指せ！全国大会出場！！

「第10回茨城県ビルクリーニング技能競技会」 開催のお知らせ

「第10回茨城県ビルクリーニング技能競技会」を下記により開催します。

この競技会は、本年10月30日・31日に開催される「第13回全国ビルクリーニング技能競技会」の地区予選となる、「第13回関東甲信越地区ビルクリーニング技能競技会」（6月上旬開催予定）へ出場する代表選手の選考会を兼ねております。

本競技会への出場選手が年々減少しておりますので、各会員におかれましては、選手の出場について特段のご配慮をお願いします。

- 記
1. 日 時：平成25年5月9日（木）
10:00～（予定）
 2. 場 所：茨城県立青少年会館
2F「大研修室」
 3. 競技内容：「弹性床材の表面洗浄床維持剤塗布仕上げ」作業
 4. 参加資格：ビルクリーニング技能士の資格を有する者
- ※詳細等通知は、当協会より後日、会員各社へ送付いたしますので、ご参照下さい。



ノロウイルスに注意しましょう

最近、県内ではノロウイルスが原因で、嘔吐、下痢を起こす方が増えています。

ノロウイルスは、口から体内に入り感染します。

1 外出後、調理前、食事前、トイレ後などは、必ず石けんで手を洗う習慣を身につけ感染を予防しましょう。

- 2 患者のふん便やおう吐物の処理にあたっては、使い捨ての手袋及びマスクを着用するなど、十分注意しましょう。
- 3 汚物を処理した後は、石けんでしっかり手を洗うとともに、「うがい」もしましょう。

感染予防の基本は手洗いです。

石けんを用い、30秒以上洗いましょう。

●感染症や食の安全に関する情報は、茨城県の下記HPをご覧ください。

感染症に関する情報

⇒ <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/yobo/yobo.htm>

食の安全に関する情報

⇒ <http://www.shoku.pref.ibaraki.jp>

茨城県保健福祉部作成パンフレットから抜粋

会員紹介

Ibaraki Building Maintenance Association

株式会社 協栄 千葉支店

株式会社協栄千葉支店は1980年（昭和55年）に千葉県船橋市に開設しました。

以来、32年間船橋市を中心に営業活動をしておりましたが、昨年の9月24日に、鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷のくすりの福太郎本社Fタワービルに支店を移転しました。

最寄り駅である新鎌ヶ谷駅は、新京成・東武野田線・北総線の3路線が乗り入れており新しい千葉支店は便利な立地となっております。

この新鎌ヶ谷は、駅前の再開発も進んで大型スーパーなどビルも次々と建設され、活力のある街です。新天地で職員も心機一転、仕事に励んでいるところです。

当社の特徴としては、体育館のメンテナンスやプール監視などスポーツ施設の管理を多数行っております。株式会社協栄は1983年（昭和58年）つくば科学博では茨城協会の一員として清掃業務を担当いたしました。



株式会社 クリーンらいふ

業務内容

- クリーニングサービス
- 一般・産業廃棄物処理：◆引越し等に伴う不要物回収 ◆専門業の定期回収
- 貯水槽清掃（マンション・アパート等のご家庭用蛇口から出るお水です。）
 - ◆水道法改正に伴う管理・点検（水道法第34条の2）の請負
 - ◆専門技術者による水質検査及び報告書の提出
- 給排水洗浄：◆臭い・汚れ・詰り ◆洗浄箇所
- 造園・植栽管理：◆設計 ◆工事・維持
- 害虫駆除
- セキュリティーサービス：◆常駐警備 ◆交通誘導警備
- 室内環境測定



京成ビルサービス株式会社 土浦事業所

当社は、「お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献する」という、「京成グループ経営理念」に基づきオフィスビル、店舗、マンション等の不動産管理業・警備業ならびに建設業に取り組んで参りました。

今後、さらに「サービスの充実」に努めて参る所存でございます。

皆様方各位の、なお一層のご支援ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

京葉ビルサービス株式会社 茨城支店

弊社、京葉ビルサービス株式会社は昭和39年4月創業、社名の由来の東京、千葉、茨城に地盤を置き、総合ビル管理の体制をしいて、お客様のニーズにこたえてまいりました。



また空気環境にも着目し、いち早く空調用ダクトクリーニングの事業登録を取得し、施行を実施してまいりました。今後ともこれまでに培ったノウハウを生かし、お客様によりご満足のいく快適な環境の提供に努力してまいります。

古河ビルサービス株式会社

当社経営理念

- お客様第一主義で、よりよい技術力と高品質のサービスを提供します。
- お客様とのつながりを大切にし、笑顔と元気を忘れない接客をします。
- 安全・安心・環境に配慮したメンテナンスをします。
- 従業員一人一人が自覚と責任をもち、行動します。

当社事業内容

- 日常清掃、定期清掃
- 病院向けのサービス

清掃と、スタッフの教育・訓練を行ったうえで、評価基準に基づいた検証と問題点を抽出し改善を行い、日々の清掃の向上をはかっております。



次号の会員紹介は、国際ビルサービス(株) 茨城支店、(株)コスマティック 東日本事業部、(有)コミュニティー、(株)サンアメニティ 茨城支社、三幸(株) 北関東支店筑波営業所の5社にお願いする予定です。ご協力よろしくお願ひします。

■編・集・後・記■

平成25年になって正月もあつという間に過ぎ、早くも2ヶ月が経ちました。年々月日が流れるのが早く感じています。

さて、皆様は今年の目標を立てたでしょうか？

私は、スキルアップの為に、「資格を1つ取得！」という目標を毎年立てていますが、そう簡単にいってないのが現状なので今年こそは！と、自分にプレッシャーをかける意味でも良い機会だと思い書かせてもらいました。

まだ今年の目標を決めていない方は、是非この機会に何でもいいので目標を決めてみてはいかがでしょうか？

『目標』を立てて行動する事が自分の為でもあり、家族の為でもあり、会社の為でもあり、さらにはこの業界のさらなる発展の為でもあるかもしれません。

昨年12月に発生した中央自動車道上り線筐子トンネル天井板落下事故から約2ヶ月ぶりに全面開通されました。事故原因はまだはっきりしていませんが、様々な要因が重なって起きました気が致します。

我々の業界にとっても『点検』は重要項目でもあり、事故を未然に防ぐ為、いつもよりちょっとした数値の変化や異音など様々な危険状態のサインを見

逃さない様にするにはどうしたら良いか？また、不慮の事故が起きてしまった場合を考え被害を最小限に抑える為にも、現場での処置や対応をしっかりと行っていく事が大事ですのでもう一度、作業マニュアルなどを見直してみてください。

今回発行の茨協ニュース（第85号）を読んでいただく頃には、入札など業界にとって忙しい頃かと思いますが、こんな時こそ普段しないミスをしてしまう危険が高まっていますので慌てないで落ち着いて仕事をしてください。

それでは、皆様、体調に気をつけて頑張っていきましょう！

新生ビルテクノ(株)
館 由紀夫

今号の編集者

◎委員長

池田 弘（常総ビル整美（株））

◎編集委員

湯原 隆幸（タカラビルメン（株））

館 由紀夫（新生ビルテクノ（株））

佐藤 秀夫（JR水戸鉄道サービス（株））

助川 和徳（日興美装工業（株））

◎副会長

宮内 隆夫（関東ビルサービス（株））

発行所

茨城県水戸市千波町1918
社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
☎029-305-5111 FAX 029-305-5112
E-mail : ibmal@ceres.ocn.ne.jp
http://www.ibaraki-bma.or.jp/

責任者 会長 大山 進

編集責任者 広報委員長 池田 弘

発行回数 年3回

印刷所 (有)クリエイティブサンエイ